

法学部A方式Ⅱ日程・国際文化学部A方式
キャリアデザイン学部A方式

3 限 選 択 科 目 (60 分)

科 目	ページ	科 目	ページ
政治・経済	2～20	日 本 史	22～38
世 界 史	40～53	地 理	54～63
数 学	64～69		

〈注意事項〉

1. 試験開始の合図があるまで、問題冊子を開かないこと。
2. 解答はすべて解答用紙に記入しなさい。
3. 科目の選択は、受験しようとする科目の解答用紙を選択した時点で決定となる。
一度選択した科目の変更は一切認めない。
4. 数学については、定規、コンパス、電卓の使用は認めないので注意すること。
5. マークシート解答方法については以下の注意事項を読みなさい。

マークシート解答方法についての注意

マークシート解答では、鉛筆でマークしたものを機械が直接読みとって採点する。したがって解答はHBの黒鉛筆でマークすること(万年筆、ボールペン、シャープペンシルなどを使用しないこと)。

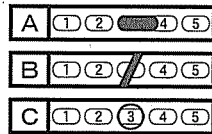
記入上の注意

1. 記入例 解答を3にマークする場合。

(1) 正しいマークの例



(2) 悪いマークの例



枠外にはみださないこと。

○でかこまないこと。

2. 解答を訂正する場合は、消しゴムでよく消してから、あらためてマークすること。
3. 解答用紙をよごしたり、折りまげたりしないこと。
4. 問題に指定された数よりも多くマークしないこと。

6. 問題冊子のページを切り離さないこと。

(世界史)

〔I〕 次の文章を読み、下記の問いに答えよ。

歴史を考える時、時代区分は一つの便利な手段である。

たとえば中国の唐の歴史は、初唐・盛唐・中唐・晩唐という四区分で語られることがあるが、これはもともと詩を中心とした文学上の動きをもとに明代に確立された区分である。

そのなかでまずは玄宗の即位とともに始まる「盛唐」とされる時代に注目してみたい。この時代は、文学では李白や杜甫が活躍した唐詩の全盛期であり、絵画においても著名な画家が活躍し山水画という新しい分野が確立された時代であった。⁽¹⁾「開元の治」とも称された玄宗の治世の下、国全体の人口は唐代の最高を記録し、都である長安の人口は100万人を超え、世界各地から人々が訪れ、外国との交易も盛んに行われ、多種多様な文化が流入し、経済的にも文化的にも繁栄を謳歌していた。楊貴妃という華やかな存在にも彩られ、まさに「盛唐」という言葉にかなった時代だったと言えよう。⁽²⁾

しかし時代の評価というものはさほど簡単なものではない。

たとえば版図については、玄宗も外征により版図の拡大を進めたが、タラス河畔の戦いでの敗北に象徴されるように版図の拡大には限界があり、初唐に位置づけられる高宗時代の最大版図を回復することは出来なかった。⁽⁴⁾

また、唐の法典や統治機構といった基本的な制度は初唐の前半期に整備されたが、人民支配と収税の基軸であった均田制・租庸調制は初唐の終わり頃、則天武后の時代には綻びが顕著となっており、玄宗の時代には崩壊がほぼ決定的な状態にあった。均田制の綻びは府兵制の存立にも関わる問題であるが、それとともに高宗の時代には、北方の異民族の成長が著しく、それまでの鎮・戍に防人を派遣する小規模分散型の国境防備体制だけでは対応が困難となっており、軍鎮という大規模集中型の軍事組織を辺境に常置しなければならなくなっていた。そして玄宗が即位する直前の710年からこの軍鎮を統轄するために節度使が設けられるようになるが、こういった軍制の変化は、やがて安史の乱を呼び起こすことになる。⁽⁷⁾⁽⁸⁾

一方、「開元の治」は優秀な科挙出身官僚の存在によるところが大きい。これら科挙官僚の進出を進めたのは初唐末期の則天武后であった。女性であり、主家^(d)から皇帝の位を奪った則天武后は、儒学の価値観からは本来受け入れがたい存在であるが、儒学を学んだ科挙官僚はこの則天武后の力によって官界に大きく進出し、盛唐の世を作り出したのである。⁽⁹⁾

安史の乱後から始まる中唐の時代に目を移すと、国内では軍閥化した藩鎮の勢力が跋扈し、9世紀初めの時点では、唐朝が完全に掌握できていた戸数は全戸の6割弱になっていたとも言われている。国際関係という点でも、吐蕃^(e)とウイグル⁽¹⁰⁾の強勢の前に唐朝の弱体化は明らかであった。唐朝が最終的に藩鎮の領袖であった朱全忠に滅ぼされたことを考えると、その間に紆余曲折はあったものの、政治的には中唐という時代もまた唐朝の長い晩年の一部とする見方も成り立つだろう。

しかし中唐の時期に起こった文学・思想上の動き⁽¹¹⁾が、宋代の文学・思想の先駆けとしての役割を果たしていることにも注意しなければならない。滅亡に向かうこの時代に新たな時代の準備が着々と進められていたのである。そういう意味では、逆に中唐の文学運動が杜甫から受けた影響の大きさにも注意しておく必要があるだろう。

時代を分けるというのは便宜的なものに過ぎない。確かに歴史の流れを理解する上では極めて有効であるが、それにとらわれ過ぎることは歴史の理解を阻害することにも繋がる。時代区分に当たっては、区分の指標をよく理解し、その適切性を考え、断絶と連続とをともに意識することが常に重要である。

問1 下線部(1)について、後世、李白と杜甫の詩風・功績からそれぞれを称した言葉の組み合わせとして正しいものを、ア～オのうちから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア 李白…詩神 杜甫…詩仏

イ 李白…詩聖 杜甫…詩仙

ウ 李白…詩聖 杜甫…詩仏

エ 李白…詩仙 杜甫…詩聖

オ 李白…詩仏 杜甫…詩聖

世界史

問2 下線部(2)について、絵画の分野で高い評価を受け、後世、「南宗画の祖」とも評された人物として正しいものを、ア～オのうちから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア 閻立本 イ 王維 ウ 孔穎達 エ 呉道玄 オ 李思訓

問3 下線部(3)について、唐代には多くの外来宗教がもたらされたが、「祇教」という呼称で知られる宗教として正しいものを、ア～オのうちから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア キリスト教アタナシウス派 イ キリスト教アリウス派
ウ キリスト教ネストリウス派 エ ゾロアスター教
オ ユダヤ教

問4 下線部(4)について、タラス河畔の戦いにおいて唐朝に勝利した国として正しいものを、ア～オのうちから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア アッバース朝 イ ヴァルダナ朝 ウ ウマイヤ朝
エ 後ウマイヤ朝 オ ササン朝

問5 下線部(5)について、官吏の監察に当たった機関として正しいものを、ア～オのうちから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア 御史台 イ 刑部 ウ 中書省 エ 門下省 オ 吏部

問6 下線部(6)について、唐朝に対し服従や敵対を繰り返しながら中国東北部で勢力を増し、10世紀に国を建てることになる民族として正しいものを、ア～オのうちから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア 契丹 イ 高車 ウ 女真 エ 突厥 オ 靺鞨

世界史

問11 下線部(11)について、以下のア～エの記述のうち、中唐の時期に起こった文学・思想上の動きに関する記述として正しいものはいくつあるか。正しいものの合計数を解答欄にマークせよ。

ア 韓愈は古文の復興を唱えた。

イ 韓愈は仏教、とりわけ禅宗の重要性を唱えた。

ウ 白居易の「長恨歌」は玄宗と楊貴妃をめぐる叙事詩である。

エ 蘇軾は平易な表現を用いた詩風により、文学の庶民化に貢献した。

問12 下線部(a)について、海上交易を管理するために玄宗の時に広州に設けられた官職は何か。その名称を解答欄に記入せよ。

問13 下線部(b)について、唐代に法律の施行細則として作られたものは何か。その名称を解答欄に記入せよ。

問14 下線部(c)について、唐代の均田制において、規定上、国家に返還する必要がなく、実質的に世襲が認められた土地は何か。その名称を解答欄に記入せよ。

問15 下線部(d)について、則天武后が唐に代えて建てた国は何か。その名称を解答欄に記入せよ。

問16 下線部(e)について、吐蕃の都だった都市は何か。その名称を解答欄に記入せよ。

〔Ⅱ〕 次の文章を読み、下記の問いに答えよ。

ボスフォラス海峡を扼するこの都市には、かつて二つの巨大な帝国の首都であったという歴史がある。4世紀以降、中世のある一時期を除き1453年までは の、そしてそれ以後は の首都として繁栄していた。そもそも最初にこの地にギリシア人が居を定めたのは、紀元前7世紀のことであるとされている。しかし、 が、1923年に近代的国民国家を目指す指導者として初代大統領となったとき、 ^(a) 彼が打ち立てた国の一都市となって、 に首都の座を譲った。

この都市には、その長い歴史を物語る貴重な遺跡が数々存在する。15世紀以来、支配者の居所となり、近代にいたるまで行政の中心でもあったトプカプ宮殿から、セウェルス帝が築いたとされる城壁のあたりまでの地域には、現在は博物館となっているハギア＝ソフィア聖堂、アト・メイダヌ、スルタン・アフメト・モスク、巨大な地下貯水池などがひしめき合い、少し西方に進むと、 ・モスクやウェアンス水道橋を見ることが出来る。そして、旧市街の西端にあって、長いことこの都市を守ってきたのが、テオドシウス2世の時代に築かれた、 ^(b) マルマラ海から金角湾までにおよぶ城壁である。

征服者 によって建てられたトプカプ宮殿は、ギリシア人のポリスであった のアクロポリスがあった岬の高台に建てられている。ここには、帝国議会が開催された第2の庭があるばかりではなく、ハーレムや巨大な厨房跡、一時期はイエニチエリ ^(c) 管轄下にあって兵器庫として使われていたアヤ・イリーニ教会遺跡なども見られる。 は1839年に西欧化を進める改革を始めたが、その起点となったギュルハネ勅令のギュルハネとは、この宮殿内のバラ園のことである。アナトリアに起こった の首都は初期にはブルサに置かれていたが、ムラト1世の時代に に首都機能を移している。 の戦いでは、「稲妻」と呼ばれた がティムールに敗れたものの、その後、国力の回復に努め、 の時代には、ついに を滅亡に追いやって、この都市を手中に収めた。 は、 の曾孫にあたる。

現在、歴史地域とされている一角には、ギリシア時代の旧城壁の外に新たに城壁を築き、市域を拡大したセウェルス帝が建設させたアト・メイダヌや浴場の遺

世界史

跡もある。アト・メイダヌはギリシア語風の呼び名では、ヒッポドロームとなり、戦車競技などが行われた施設であった。

現在は博物館となっているハギア＝ソフィア聖堂は、6世紀にニカの乱で破壊された後、によって再建された教会であった。この建物とスルタナメット広場を挟んで、対峙するように立っているスルタン・アフメト・モスクは、ブルー・モスクと呼ばれる美しいモスクとして知られている。

ところで、構造という観点から見て、ハギア＝ソフィア聖堂とよく似ているという評価のある・モスクは、オスマン帝国黄金時代のスルタンと讃えられているが当代随一のミマル(建築家)に建てさせたモスクであった。そして今日、ハギア＝ソフィア聖堂と並ぶように立っているスルタン・アフメト・モスクは、アフメト1世が17世紀の初めに建設させたものである。この皇帝は立法者と呼ばれたの後に続いた4人目の皇帝にあたる。そして、このモスクの設計者は、・モスクの設計者の弟子筋にあたる建築家であった。してみると、17世紀に建てられたスルタン・アフメト・モスクが、6世紀に竣工したハギア＝ソフィア聖堂と非常によく似た外見を持つことも不思議ではない。この二つのモスクの並び立つ景観は、イスラーム世界が古代ローマの文化を継承していった様子を象徴的に示す一例と言って良いかもしれない。

ボスフォラス海峡を渡って、アジア側の対岸に目を向けると、カドキョイという町がある。ここは、古代にはカルケドンという名で、よりも先に建設されたギリシア系植民市であった。そのことを伝えているのは、ペルシア戦争史を著したことで知られる、ハリカルナソス出身の歴史家である。同じくユスクダルと呼ばれる、カドキョイの北にある町も、古代にはクリュポリスという名称のギリシア系植民市であった。ちなみに、が始めた西欧化を進める改革のさなかに勃発し、1856年のパリ条約で終結を見た対外戦争の際に、傷病兵の看護に献身したことで知られるイギリスの看護師が活躍したのは、ユスクダルにあった野戦病院であったとされている。は、1860年にロンドンに看護学校を開校したことで名高い。

問1 空欄1～4のそれぞれに最もよくあてはまる人名を解答欄に記入せよ。

問2 空欄ア～ウのそれぞれに入る最も適切な語を、以下の語群から選び、その数字を解答欄にマークせよ。

- | | | |
|---------|-----------|---------|
| 1 アンカラ | 2 イスファハーン | 3 エディルネ |
| 4 エフェソス | 5 タブリーズ | 6 ニケーア |
| 7 ネアポリス | 8 ビザンティオン | |

問3 空欄A～Cのそれぞれに入る最も適切な語を、以下の語群から選び、その数字を解答欄にマークせよ。

- | | |
|--------------|--------------|
| 1 アブデュルメジト1世 | 2 アブデュルハミト2世 |
| 3 オスマン1世 | 4 セリム1世 |
| 5 バヤジット1世 | 6 マフムト2世 |
| 7 メフメト2世 | 8 メフメト8世 |

問4 下線部(a)について、西欧的近代化を目指したこの大統領のとった施策として適切でないものを、1～4のうちから一つ選び、その数字を解答欄にマークせよ。

- | | |
|------------|----------|
| 1 女性解放 | 2 政教分離 |
| 3 二院制議会の設置 | 4 ローマ字採用 |

問5 下線部(b)について、テオドシウス2世の祖父にあたるテオドシウス1世の死は、Xにとって大きな意味を持つ出来事であった。このテオドシウス1世の没年として正しいものを、1～4のうちから一つ選び、その数字を解答欄にマークせよ。

- | | | | |
|--------|--------|--------|--------|
| 1 379年 | 2 380年 | 3 392年 | 4 395年 |
|--------|--------|--------|--------|

世界史

問6 下線部(c)について、イエニチェリの説明として正しいものを、1～4のうちから一つ選び、その数字を解答欄にマークせよ。

- 1 19世紀に近代化政策に積極的に取り組んだセリム3世によって解散させられた。
- 2 キリスト教徒と戦わせるための、キリスト教徒からなる、スルタン直属の奴隸軍団であった。
- 3 キリスト教徒の子弟を強制的に徴用する制度によって集められた常備歩兵軍団であった。
- 4 国から与えられた分与地を経済的基盤とし、火器を装備したトルコ系騎士団として名高い。

問7 以下のa～dのそれぞれの文について、空欄Xの説明として適切なら1を、空欄Yの説明として適切なら2を、いずれの説明としても不適切なら3を解答欄にマークせよ。

- a 世界三大宗教の一つとされる宗教を国教としていたが、その布教のために聖像崇拜には建国以来一貫して寛容な姿勢を示していた。
- b この帝国では、中世に聖職者の叙任権をめぐって、宗教界の長と世俗の世界の長とが激しい争いを繰り広げた。
- c この帝国の最後の皇帝の姪は、モスクワ大公国のイヴァン3世に嫁いだ。
- d イスラーム世界とキリスト教世界との接点に位置し、最盛期にはハンガリーを征服し、ウィーン包囲を敢行するなど、存在感を誇示した。

問8 以下のa～eのそれぞれの国について、空欄Zに入る人物の治世中に滅んだ国なら1を、その治世よりも前に滅んだ国なら2を、その治世よりも後に滅んだ国なら3を解答欄にマークせよ。

- | | | |
|-----------|------------|-----------|
| a 東ゴート王国 | b 西ゴート王国 | c ヴァンダル王国 |
| d ブルグンド王国 | e ランゴバルド王国 | |

〔Ⅲ〕 次の文章を読み、下記の問いに答えよ。なお、解答は本問末尾の語群A・Bから、各問いの指示に従って選択せよ。

大規模工業生産を中心とする近代資本主義は、イギリスで最も早く成立した。

イギリスの農村では、荘園領主から農民が早期に解放されて村落共同体が解体する一方で、羊毛生産のために牧場への転換が進められたことで耕作地が失われ、貧富の差が拡大した。そして、富裕な者と貧しい農民との間に雇用関係が結ばれ、問屋制、工場制手工業という経営形態の下で毛織物工業が隆盛した。

こうして資本家と労働者からなる社会的生産関係が事実上形成され、イギリスは18世紀には最大の毛織物工業国となった。政治面では市民革命により絶対主義王制が終焉し、⁽¹⁾経済面では海上覇権の確立で海外植民地を獲得するとともに重商主義政策を展開した。産業革命の突破口となる綿工業は、これらの条件が存在する⁽²⁾ところに技術革新の一環として蒸気機関が發明されたことで急速な発展を遂げた。蒸気機関は、それまで動力源のために制約されていた工場立地を自由にした点で、時代を画した「イノベーション(革新)」であった。

綿工業の発展を契機に機械工業が発展して確立した資本主義は、封建時代とは全く異なる商品社会を作り出したが、同時にそれは新たな二つの大きな問題を伴っていた。それは、生産の合理化や効率化の結果として生じた貧困の蔓延に関わる問題と、国内では飽和状態となった生産物を売り捌くための海外市場の獲得に関わる問題である。

貧困問題は、イギリスでは15世紀から村を離れた放浪者、浮浪者の増加として目に付くようになった。これに対応した政策としては、エリザベス1世時代の救貧法が有名である。この後、大規模生産が広がると、それへの反発から機械うちこわし運動が起こり、また生活条件の改善を求める労働運動も活発となった。19世紀の20年代になると、過剰生産を要因とする経済恐慌が起こり、労働者の大量解雇と失業が発生した。イギリス政府は、当時の自由主義の風潮の中で「新救貧法」を制定したが、その内容は貧民の生活を一層悪化させるもので、社会の反発を買った。こうした状況を受けて⁽³⁾貧困問題の社会的・制度的解決を求める様々な社会主義思想が出現した。また労働者の政治的・社会的権利の拡大を求める動きも活発化した。労働者運動は、19世紀期後半には資本主義が発展し始めたイギリ

世界史

ス以外の諸国でも活発となった。

海外市場を求める動きも19世紀に活発化した。従来、海外植民地は資源・材料、奴隷労働力の獲得を図るものであったが、資本主義体制の下で大量の生産物が生み出されるようになると、海外植民地は販売市場としても求められるものになってきたのである。既に獲得されていた海外植民地に加えて、アジア、アフリカで⁽⁴⁾植民地の確保や影響力の拡大を求めるヨーロッパ諸国と新興国の動きが活発となった。近代資本主義の下での植民地の新たな獲得と再配分を求める各国の対立は、帝国主義時代の特徴である。この対立は、発達した資本主義の下で生まれた工業技術を応用した戦車、毒ガス、潜水艦、航空機を兵器として用いる第1次世界大戦に結果した。そこで、この戦争は「戦争の工業化」とも言われるのである。

問1 下線部(1)について、以下の問いに答えよ。

- ① イギリス革命は、王権と議会の宗教信仰をめぐる対立を発端とするが、スコットランド王からイングランド王に即位してこの対立を生んだ人物は誰か。語群Aから選び、その数字を解答欄にマークせよ。
- ② イギリス革命における議会派のなかで普通選挙と共和政を唱えた急進派を何というか。語群Bから選び、その数字を解答欄にマークせよ。
- ③ 王政を崩壊させた後、議会を解散し、護国卿となって軍事独裁をとった指導者は誰か。語群Aから選び、その数字を解答欄にマークせよ。
- ④ 名誉革命後、恣意的な逮捕・裁判の禁止、課税や法律制定への議会権限の王権に対する優位などを定めた法律は何か。語群Bから選び、その数字を解答欄にマークせよ。
- ⑤ 名誉革命で亡命した国王の子で、スコットランドとイングランドの合併により大ブリテン王国が成立した時に国王であった人物は誰か。語群Aから選び、その数字を解答欄にマークせよ。

問2 下線部(2)に関連する次の文章について、空欄 a～e に入る最も適切な語を語群 A から、空欄 ア～ウ に入る最も適切な語を語群 B から選び、その数字を解答欄にマークせよ。

による飛び杼の発明で織布分野で大幅に生産が増加すると、糸需要の高まりから の多軸紡績機、アークライトの 、さらにクロンプトンの が発明された。ここには需要増加に応じて起こる技術革新の連鎖を見ることができる。このなかで は、蒸気機関に熱効率の向上や回転運動への転換といった改良を加え、さらに広汎な機械に応用できるようにした。この蒸気機関を利用したのが、カートライトによる の発明である。技術革新は、 による蒸気船の開発、 による蒸気機関車の実用化と続き、これは19世紀の交通革命を生み出した。

問3 下線部(3)に関連する次の文章について、空欄 a～d に入る最も適切な語を語群 A から、空欄 ア～ウ に入る最も適切な語を語群 B から選び、その数字を解答欄にマークせよ。

貧困を社会問題と考える社会思想家には、フランスでは『産業者の教理問答』を著して新キリスト教を唱えた 、生産と消費の協同団体(ファランジュ)の設立を主張した 、イギリスでは労働者の生活条件の改善を目指す工場を経営した がいた。彼はアメリカでも理想の実現を図ったが、失敗に終わった。彼らの考え方を、ドイツ出身の は、著書『空想から科学へ』のなかで「空想的=ユートピア的」と批判したが、理想社会を提起する点では彼自身の考えも「ユートピア」を述べたものといえる。またイギリスでは1824年に労働運動を規制した が廃止され、1828年には公職就任に宗教的差別を設ける審査法が廃止されるなど、人々の権利の拡大が進んだ。一方、1846年には物価の高騰を招き人々の生活を圧迫する原因の一つとなっていた が廃止されたが、実際には賃金を安く抑えたい資本家の意向が強く働いており、1838年に出された が求める普通選挙権の実現も20世紀を待たねばならないなど、労働者の権利の拡大にはなお多くの制約があった。

世界史

問4 下線部(4)に関連する次の文章について、空欄 a・b に入る最も適切な語を語群Aから、空欄ア～コに入る最も適切な語を語群Bから選び、その数字を解答欄にマークせよ。

インドでは、1857年に の反乱が起こると、イギリスは 帝国を滅ぼし、イギリス国王である がインドの統治を兼ねる直接統治の下に置いた。

中国では、清朝がアヘン貿易に異を唱えてイギリスと戦争になり、イギリスは1842年の 条約で上海などの開港、香港の割譲を清朝に強いた。さらにフランスも加わった1856年からの 戦争においては、1858年にロシアとアメリカも加えて締結された 条約により、キリスト教布教など、外国勢力の活動を清朝に大きく承認させた。またロシアは、 条約でアムール川左岸を、1860年の 条約でウスリー川以東を清朝に割譲させた。この交渉に当たったのは、東シベリア総督 であった。

東南アジアでは、諸島部に進出したオランダが1912年に 戦争を終わらせてオランダ領東インドを最終的につくりあげた。またインドシナ半島に進出したフランスが、1883年の 条約でベトナムを保護国化し、その後、カンボジアを組み込んでフランス領インドシナ連邦とした。

中央アジアでは、ロシアが19世紀後半にブハラ＝ハン国とヒヴァ＝ハン国を保護国とし、 =ハン国を併合した。

〔語群A〕

- | | | |
|-------------|--------------|-----------|
| 1 アン女王 | 2 ヴィクトリア女王 | 3 ウィリアム3世 |
| 4 ウォルポール | 5 エンゲルス | 6 オーウェン |
| 7 グラッドストン | 8 クロムウェル | 9 サン=シモン |
| 10 ジェームズ1世 | 11 ジョージ1世 | 12 ジョン=ケイ |
| 13 スティーヴンソン | 14 チャールズ1世 | 15 ニューコメン |
| 16 ハーグリーヴズ | 17 バーナード=ショー | |
| 18 フーリエ | 19 フルトン | 20 プルードン |
| 21 ベーリング | 22 マルクス | 23 ムラヴィヨフ |
| 24 メアリ2世 | 25 ワット | |

〔語群B〕

- | | | |
|------------|----------|-----------|
| 1 愛琿 | 2 アチェ | 3 アロー |
| 4 広東 | 5 キャフタ | 6 クリム |
| 7 権利の章典 | 8 航海法 | 9 工場法 |
| 10 穀物法 | 11 コーカンド | 12 シパーヒー |
| 13 ジャワ | 14 人民憲章 | 15 水平派 |
| 16 水力紡績機 | 17 団結禁止法 | 18 天津 |
| 19 独立派 | 20 南京 | 21 北京 |
| 22 ミュール紡績機 | 23 ムガル | 24 ユエ(フエ) |
| 25 力織機 | | |